

日本フィルハーモニー交響楽団

第103回さいたま定期演奏会

Japan Philharmonic Orchestra
103rd Saitama Subscription Concert



【桂冠名誉指揮者】

指揮：小林 研一郎 Ken-ichiro Kobayashi, conductor

東京藝術大学作曲科および指揮科卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。

ハンガリー国立交響楽団音楽総監督、日本フィル音楽監督、アーネム・フィル常任指揮者をはじめ、国内外のオーケストラのポジションなどを歴任。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章、2010年にはハンガリー文化大使の称号が授与されている。2011年文化庁長官表彰を受ける。2013年秋の叙勲で旭日中綬章が授与された。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルおよび名古屋フィルの桂冠指揮者、読売日響の特別客演指揮者、九州交響楽団の首席客演指揮者、東京文化会館音楽監督、東京藝術大学、東京音楽大学およびリスト音楽院名誉教授などを務める。

ヴァイオリン：千住 真理子 Mariko Senju, violin

NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし話題となる。2015年にデビュー40周年を迎えた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でる最新アルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と共演、好評を博した。2017年には、スーク室内オーケストラと各地で共演。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」「ヴァイオリニスト 20の哲学」、また母との共著「母と娘の協奏曲」「命の往復書簡2011～2013」など多数。

千住真理子オフィシャルホームページ <http://www.marikosenju.com/>



世界が認めた光学技術

タムロンは、写真レンズをはじめとする各種光学製品を開発・製造する、総合光学メーカーです。

高い技術力により開発された製品は、世界中の国で高く評価されています。

さいたまの地が育んだ先進の光学技術で、私たちはこれからも、さまざまな分野で「産業の眼を創造貢献」し続けます。

主な取扱製品

一眼レフカメラ用交換レンズ / デジタルカメラ用レンズ / ビデオカメラ用レンズ
IP・CCTVカメラ用レンズ / 遠赤外線カメラ用レンズ / 車載用レンズ / 各種光学用デバイス部品等
精密金型 / 精密プラスチック成形品 / 原器



SP 35mm F/1.8



SP 45mm F/1.8



SP 85mm F/1.8



SP 90mm F/2.8



SP 150-600mm F/5-6.3 G2

株式会社タムロン
〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼 1385番地
<http://www.tamron.co.jp/>

TAMRON